



## ユーザーガイド

# MicroPulse®経強膜レーザー療法向けのスイープ管理ソフトウェア搭載Cyclo G6®レーザー

処置固有の画面、可聴音、および患者治療パラメーターのサマリーに関する情報を提供



## 目次

<b>1. はじめに</b> .....	<b>1</b>
1.1 本ユーザーガイドの目的 .....	1
1.2 使用目的および適応.....	1
1.3 スイープ管理ソフトウェアアップグレードの内容 .....	1
<b>2. 処置固有の画面の概要</b> .....	<b>2</b>
2.1 [Set-up (セットアップ) ]画面 .....	2
2.1.1 [Standby (スタンバイ) ]画面と治療パラメーターフィールド .....	2
2.1.2 MicroPulseに関連したプログラム可能な画面 .....	3
2.1.2.1[Duty Cycle (デューティーサイクル) ]設定 .....	3
2.1.2.2[Preset (プリセット) ]画面.....	3
2.2 [Treat (治療) ]画面.....	4
2.3 [Post-Treatment (治療後) ]画面 ([Treatment Summary (治療サマリー) ]画面) .....	4
<b>3. 可聴音</b> .....	<b>7</b>
<b>4. 操作</b> .....	<b>8</b>
4.1 パラメーターの設定.....	8
4.1.1 デフォルトのパラメーターオプションをロードする .....	8
4.1.2 [Tx Summary (Txサマリー) ]アイコンを押して、[Treatment Summary (治療サマリー) ]画面の値を0にリセットする .....	9
4.1.3 治療パラメーターを確認/変更する.....	9
4.2 治療の実施 .....	11
4.2.1 次のセグメントに進む .....	12
4.3 患者の治療情報の表示および記録.....	14
<b>5. トラブルシューティング</b> .....	<b>15</b>
<b>6. お問い合わせ先</b> .....	<b>15</b>

# 1. はじめに

## 1.1 本ユーザーガイドの目的

本ユーザーガイドは、MicroPulse P3®デリバリーデバイス（または「MicroPulse P3プローブ」とも呼ばれる）に同梱されているMicroPulse®経強膜レーザー療法（TLT）向けのCyclo G6®スワイプ管理ソフトウェアアップグレードに関して固有の情報を提供することを目的としています。

本ユーザーガイドでは、ソフトウェアアップグレードに固有のグラフィカルユーザーインターフェイス画面と治療パラメーターフィールドの操作について説明しています。本ユーザーガイドでは、標準ソフトウェアとソフトウェアアップグレードの両方に共通する情報は提供していません。詳細な使用説明については、『Cyclo G6レーザーシステムオペレーターマニュアル』および『MicroPulse P3デリバリーデバイス使用説明書（IFU）』を参照してください。

注記： 本ユーザーガイドは、『Cyclo G6レーザーシステムオペレーターマニュアル』および『MicroPulse P3デリバリーデバイス使用説明書（IFU）』と一緒に使用することを意図しています。

## 1.2 使用目的および適応

本ソフトウェアアップグレードは、処置固有の画面、可聴音、および患者治療パラメーターのサマリーを提供することにより、MicroPulse TLTを実施する際のコンソールおよびプローブの操作性を向上させることを目的としています。

使用目的および適応の詳細な説明については、『Cyclo G6レーザーシステムオペレーターマニュアル』および『MicroPulse P3デリバリーデバイス使用説明書（IFU）』を参照してください。

## 1.3 スワイプ管理ソフトウェアアップグレードの内容

本ソフトウェアアップグレードには、MicroPulse TLT処置に固有の[Set-up（セットアップ）]画面、[Treat（治療）]画面、および[Post-Treatment（治療後）]画面が含まれています。これらの処置固有の別画面により、セットアップ時にパラメーターを選んでロードおよびプログラムしたり、治療時にデリバリーを監視したり、患者に使用した治療情報のサマリーを表示したりできるようになりました。

また、ソフトウェアアップグレードでは、医師が指定されたセグメント（四半分または半分）をMicroPulse P3プローブでスワイプするときに所要の速度でスワイプできるよう支援するために可聴音が鳴るようになりました。

## 2. 処置固有の画面の概要

MicroPulse TLT向けのCyclo G6スイープ管理ソフトウェアアップグレードは、可聴音に加えて、処置固有の[Set-Up (セットアップ)]画面、[Treatment (治療)]画面、および[Post-Treatment (治療後)]画面が提供されているという点で、Cyclo G6レーザーシステムに同梱されている標準ソフトウェアとは異なります。

以降のセクションでは、ソフトウェアアップグレードに固有の画面およびフィールドについてのみ説明します。本ユーザーガイドでは、ソフトウェアアップグレードと標準ソフトウェアの両方に共通する画面またはフィールドについては説明しません。ソフトウェアアップグレードと標準ソフトウェアの両方に共通する画面の説明など、Cyclo G6レーザーコンソールおよびMicroPulse P3プローブの一般的な操作方法およびメンテナンス方法については、『Cyclo G6レーザーシステムオペレーターマニュアル』および『MicroPulse P3デリバリーデバイス使用説明書 (IFU)』を参照してください。

### 2.1 [Set-up (セットアップ)]画面

#### 2.1.1 [Standby (スタンバイ)]画面と治療パラメーターフィールド

[Standby (スタンバイ)]画面では、MicroPulse TLTの治療パラメーターを入力できます。

この画面には、2つのプログラム可能なフィールドが含まれています。標準ソフトウェアには含まれていない[Duration/Sweep (スイープ速度)]と[Sweep/Segment (セグメントあたりのスイープ回数)]、および治療サマリー ([Tx Summary (Txサマリー)]) アイコンがあります。

ユーザーがプログラムすることができる2つのフィールドは、[Duration/Sweep (スイープ速度)]と[Sweep/Segment (セグメントあたりのスイープ回数)]です。これらは、文献ではあまり報告されてこなかった2つのMicroPulse TLT治療変数です。これらの治療変数を記録することは、MicroPulse TLT治療アウトカムを分析し、必要に応じてパラメーターを調整して各患者の所要の臨床アウトカムを達成するのに役立ちます。

[Tx Summary (Txサマリー)]アイコンを押すと、[Treatment Summary (治療サマリー)]画面が表示されます。[Treatment Summary (治療サマリー)]画面では、治療情報を患者のカルテに記録することができます。個人情報または個人が特定される患者情報はソフトウェアに保存されません。

表1：スイープ管理ソフトウェアアップグレードの画面の概要を参照してください。

## 2.1.2 MicroPulseに関連したプログラム可能な画面

ソフトウェアアップグレードのMicroPulseの[Duty Cycle (デューティーサイクル)]設定とMicroPulseの[Preset (プリセット)]画面は、以下に示されているようにCyclo G6レーザーに同梱されている標準ソフトウェアとは異なります。

### 2.1.2.1 [Duty Cycle (デューティーサイクル)]設定

	標準ソフトウェア	ソフトウェアアップグレード
デフォルトの選択肢	5%, 10%, 15%	5%, 15%, 31.3%

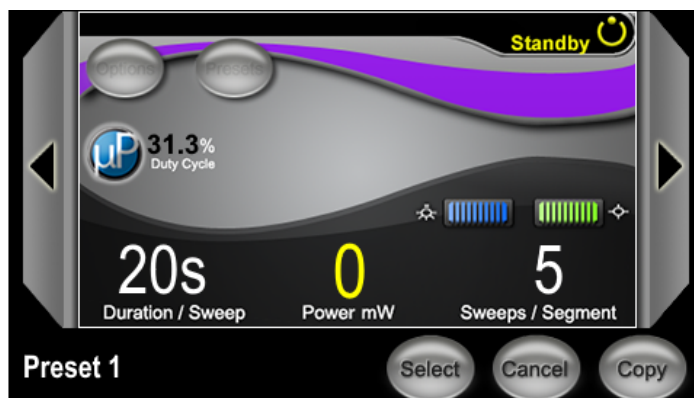
注記：デューティーサイクルの手動調整およびMicroPulseの持続時間と間隔の範囲は変更されていません。



ソフトウェアアップグレードに表示されるMicroPulseの[Duty Cycle (デューティーサイクル)]設定

### 2.1.2.2 [Preset (プリセット)]画面

	標準ソフトウェア	ソフトウェアアップグレード
プログラム可能なフィールド	Total Duration (合計時間)	Duration/Sweep (スイープ速度) Sweeps/Segment (セグメントあたりのスイープ回数)



ソフトウェアアップグレードに表示されるMicroPulseの[Preset (プリセット)]画面

## 2.2 [Treat (治療)]画面

[Treat (治療)]画面は、[Standby/Treat (スタンバイ/治療)]ボタンを押して[Treat (治療)]モードにすると表示されます。[Treat (治療)]画面には、プログラム可能なフィールドはありません。

[Treat (治療)]画面では、治療セグメント（四半分または半分）の進捗を追跡できます。以下の情報が表示されます。

1. Total Sweeps per Segment (セグメントあたりの合計スイープ)
2. Current Sweep (現在のスイープ)
3. Sweep Duration Remaining (スイープの残り時間)
4. Total Segment Duration (合計セグメント時間)
5. Total Seconds Remaining (合計残り時間 (秒))
6. Power (出力)

治療セグメントを完了すると、ストップウォッチが自動的に[Next Segment (次のセグメント)]ボタンに置き換わります。ボタンの横に表示されるフィールドキャプションが[Segment Completed (セグメント完了)]になります。次のセグメント（四半分または半分）の治療を行うには、[Next Segment (次のセグメント)]ボタンを押して、[Sweep Duration Remaining (残りのスイープ時間)]、[Current Sweep (現在のスイープ)]、および[Total Seconds Remaining (合計残り時間 (秒))]フィールドを初期値にリセットします。

表1：スイープ管理ソフトウェアアップグレードの画面の概要を参照してください。

## 2.3 [Post-Treatment (治療後)]画面 ([Treatment Summary (治療サマリー)]画面)

[Treatment Summary (治療サマリー)]画面にアクセスするには、[Standby (スタンバイ)]画面で[Tx Summary (Txサマリー)]アイコンを選択します。[Treatment Summary (治療サマリー)]画面には、プログラム可能なフィールドはありません。

[Treatment Summary (治療サマリー)]画面では、患者に使用している治療情報のサマリーを表示することができます。これには、以下のものが含まれます。

1. Total Segments (合計セグメント)
2. Total Duration (合計時間)
3. Total Sweeps (合計スイープ)
4. 処置[Duration/Sweep (スイープ速度)]、[Power (出力)]、および[Sweeps/Segment (セグメントあたりのスイープ回数)]

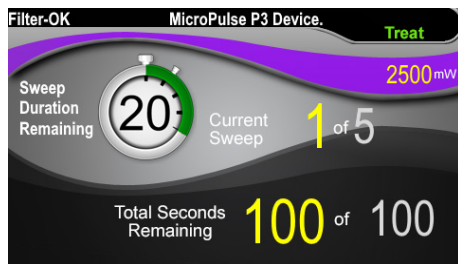
累積される値は、治療ごとにリセットする必要があります。リセットは、各MicroPulse TLT治療の前または後のいずれかで実行することができます。

[Treatment Summary (治療サマリー)]画面には、MicroPulse TLT治療データが表示されます。これらのデータを患者のファイルに記録することができます。または、[Treatment Summary (治療サマリー)]画面を写真に撮って患者のファイルに添付することもできます。個人情報または個人が特定される患者情報はソフトウェアに保存されません。

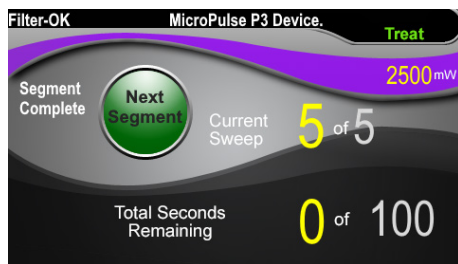
表1：スイープ管理ソフトウェアアップグレードの画面の概要

ソフトウェアアップグレードの画面	説明
<p><b>[Standby (スタンバイ) ]画面</b></p>	<p>[Standby (スタンバイ) ]画面では、MicroPulse TLTの以下の治療パラメーター*を入力できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Duration/Sweep (スイープ速度)</li> <li>• Power (出力)</li> <li>• Sweeps/Segment (セグメントあたりのスイープ回数)</li> </ul> <p>[Standby (スタンバイ) ]画面では、[Options (オプション) ]メニュー、[Presets (プリセット) ]メニュー、MicroPulseの[Duty Cycle (デューティーサイクル) ]設定、[Aiming Beam (ビーム照準) ]設定、および[Treatment Summary (治療サマリー) ]画面にアクセスできます。</p> <p>* デフォルトでは、MicroPulse P3プローブをCyclo G6レーザーに接続すると、MicroPulseのデューティーサイクルは31.3%に設定されます。</p>

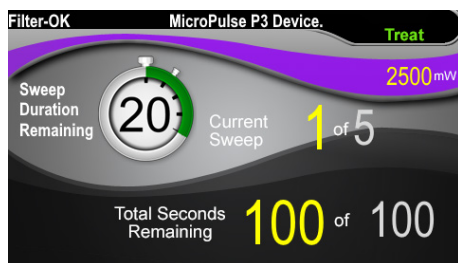
## [Treat (治療)]画面



1つのセグメントの治療を完了すると、[Next Segment (次のセグメント)]ボタンがストップウォッチの上に表示されます。



次のセグメントを治療するには、[Next Segment (次のセグメント)]ボタンを押して、[Sweep Duration Remaining (残りのスイープ時間)]ストップウォッチ、[Current Sweep (現在のスイープ)]、および [Total Seconds Remaining (合計残り時間 (秒))]フィールドを初期値にリセットします。ストップウォッチが再度表示されます。



[Treat (治療)]画面には、以下のフィールドが表示されます。

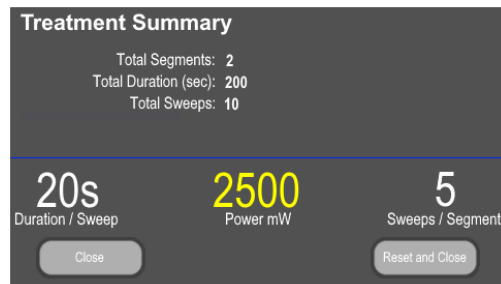
- Power (出力)  
このフィールドには、[Standby (スタンバイ)]画面の[Power (出力)]フィールドの値が自動的に挿入されます。
- Sweep Duration Remaining (残りのスイープ時間) (ストップウォッチ)
  - このフィールドには、[Standby (スタンバイ)]画面の[Duration/Sweep (スイープ速度)]フィールドの値が自動的に挿入されます。
  - [Sweep Duration Remaining (残りのスイープ時間)]フィールドでは、1回のスイープの進捗を追跡できます。このフィールドは毎スイープ後に自動的にリセットされます。
- Total Sweeps per Segment (セグメントあたりの合計スイープ)  
このフィールドには、[Standby (スタンバイ)]画面の[Sweeps/Segment (セグメントあたりのスイープ回数)]フィールドの値が自動的に挿入されます。
- Current Sweep (現在のスイープ)  
現在のスイープは、スイープを完了するごとに数が大きくなります。
- Total Segment Duration (合計セグメント時間)  
このフィールドの値は、[Duration/Sweep (スイープ速度)]フィールドと[Sweeps/Segment (セグメントあたりのスイープ回数)]フィールドの積として自動的に計算されます。
- Total Seconds Remaining (合計残り時間 (秒))  
セグメントの合計残り時間 (秒) が自動的にカウントダウンされます。

1つのセグメントの治療を完了すると、[Next Segment (次のセグメント)]ボタンが[Sweep Duration Remaining (残りのスイープ時間)]ストップウォッチの上に表示されます。

次のセグメントを治療するには、[Next Segment (次のセグメント)]ボタンを押して、[Sweep Duration Remaining (残りのスイープ時間)]、[Current Sweep (現在のスイープ)]、および [Total Seconds Remaining (合計残り時間 (秒))]フィールドを初期値にリセットします。



### [Treatment Summary (治療サマリー)]画面



[Treatment Summary (治療サマリー)]画面には、実施したMicroPulse TLT治療のサマリーが表示されます。これには、以下のものが含まれます。

- Total Segments (合計セグメント)
- Total Duration in seconds (合計時間 (秒))
- Total Number of Sweeps (合計スイープ回数)
- Duration per Sweep (スイープあたりの時間)
- Treatment Power (治療出力)
- Number of Sweeps per Segment (セグメントあたりのスイープ回数)

[Total Segments (合計セグメント)]、[Total Duration (合計時間)]、および[Total Number of Sweeps (合計スイープ回数)]は、[Reset and Close (リセットして閉じる)]ボタンを選択するまで累積されます。新しいMicroPulse TLT治療を開始する前に、[Treatment Summary (治療サマリー)]画面を表示して、これらの値が0にリセットされていることを確認してください。

個人情報または個人が特定される患者情報はソフトウェアに保存されません。

## 3. 可聴音

医師が指定されたセグメント（四半分または半分）をMicroPulse P3プローブで前後にスイープするときに所要の速度でスイープできるよう支援するために、スイープの半分まで来ると自動的に音が1回鳴り、次のスイープを開始するときに同じ音が2回鳴ります。

音の音量は、[Standby (スタンバイ)]画面からアクセス可能な[Options (オプション)]メニューで調整することができます。

## 4. 操作

以降の操作に関する説明は、ソフトウェアアップグレードに固有のものです。使用目的および適応の詳細な説明については、『Cyclo G6レーザーシステムオペレーターマニュアル』および『MicroPulse P3デリバリーデバイス使用説明書 (IFU) 』を参照してください。

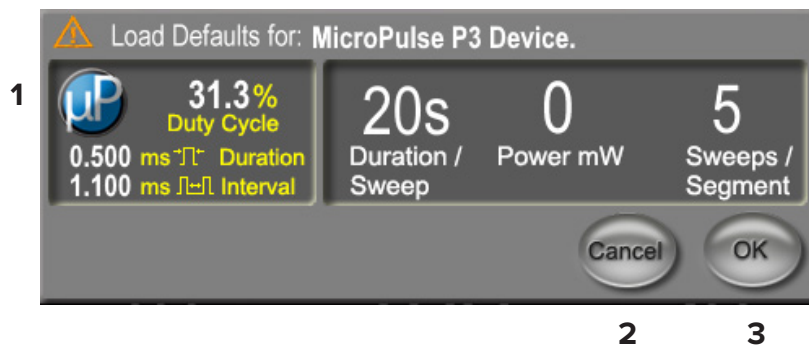
### 4.1 パラメーターの設定

#### 4.1.1 デフォルトのパラメーターオプションをロードする

Cyclo G6レーザーを設定し、レーザーの電源をオンにし、MicroPulse P3プローブを接続すると、[Load Defaults (デフォルトの治療値のロード)]ポップアップウィンドウが表示され、デフォルトの治療値をロードするか、ロードをキャンセルするか選ぶことができます。

ソフトウェアアップグレードの[Load Defaults (デフォルトの治療値のロード)]ポップアップウィンドウでは、標準ソフトウェアの[Total Duration (合計時間)]フィールドが[Duration/Sweep (スイープ速度)]フィールドと[Sweeps/Segment (セグメントあたりのスイープ回数)]フィールドに置き換わっています。

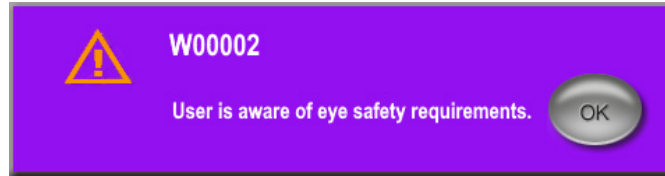
[Duration/Sweep (スイープ速度)]フィールドと[Sweeps/Segment (セグメントあたりのスイープ回数)]フィールドの積によって、セグメントあたりの合計時間が自動的に計算されます。セグメントあたりの合計時間が[Treat (治療)]画面に表示されます。



MicroPulse P3デバイスのデフォルトのロードポップアップウィンドウ

1	パラメーター表示	接続されたデバイスのデフォルトのパラメーター ([Power (出力)]を除く)。
2	Cancel (キャンセル)	変更をキャンセルして[Standby (スタンバイ)]画面に戻り、以前のパラメーターを保持する場合に押します。
3	OK	デフォルトのパラメーターをロードし、[Standby (スタンバイ)]画面に移動する場合に押します。

[Cancel (キャンセル)]または[OK (オッケー)]のいずれかを押すと、以下に示されているような眼の安全に関する要件を確認するように促すポップアップが表示されます。[OK (オッケー)]を選択して、眼の安全に関する要件を確認し、[Standby (スタンバイ)]画面に移動します。



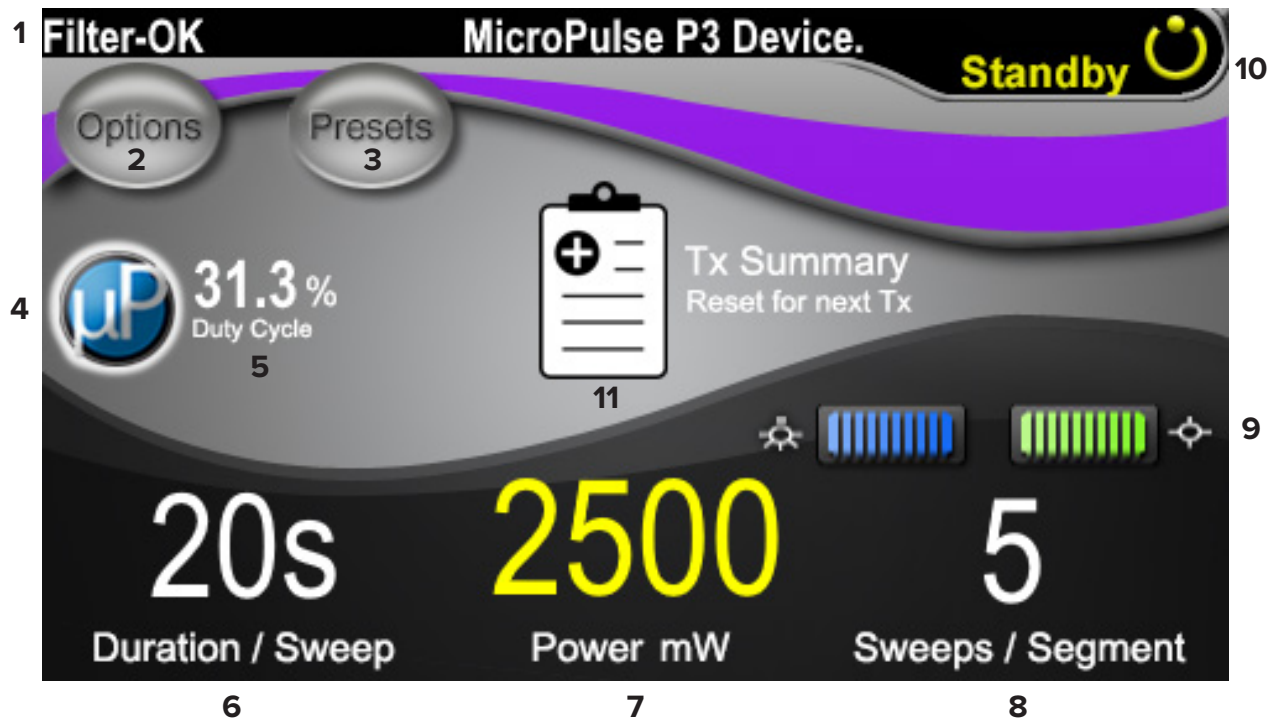
### 眼の安全に関する要件の確認ポップアップウィンドウ

#### 4.1.2 [Tx Summary (Txサマリー)]アイコンを押して、[Treatment Summary (治療サマリー)]画面の値を0にリセットする

[Standby (スタンバイ)]画面で[Tx Summary (Txサマリー)]アイコンを選択し、[Treatment Summary (治療サマリー)]画面にアクセスします。[Treatment Summary (治療サマリー)]画面で、[Reset and Close (リセットして閉じる)]ボタンを選択します。[Total Segments (合計セグメント)]、[Total Sweeps (合計スイープ)]、および[Total Duration (合計時間)]の値が0にリセットされます。

#### 4.1.3 治療パラメーターを確認/変更する

[Standby (スタンバイ)]画面で、MicroPulseの[Duty Cycle (デューティーサイクル)]、[Duration/Sweep (スイープ速度)]、[Power (出力)]、および[Sweeps/Segment (セグメントあたりのスイープ回数)]フィールドについて所要の治療パラメーターを確認し、必要に応じて変更します。パラメーターを変更するには、値を手動で調整するか、[Preset (プリセット)]を選択してユーザーがプログラムした治療パラメーターをロードします。



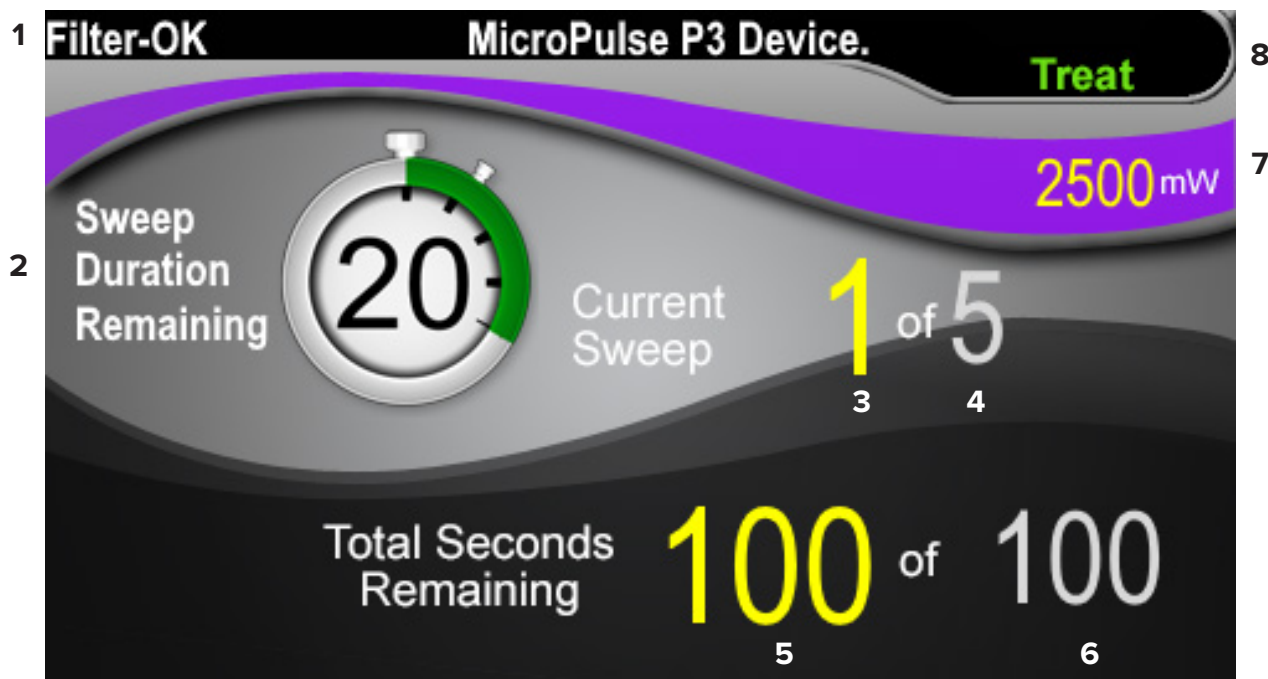
[Standby (スタンバイ)]画面

1	眼の安全フィルターのステータスと接続されているデリバリーデバイスが表示されます。
2	[Options (オプション)]画面に移動する場合に押します。
3	[Presets (プリセット)]画面に移動する場合に押します。
4	MicroPulse設定を調整する場合に押します。
5	選択されているMicroPulseのデューティーサイクルが表示されます。
6	<b>[Duration/Sweep (スイープ速度)]フィールド</b> 値は、5~40秒の範囲で5秒単位で設定できます。 左側の調節つまみを使用して、スイープあたりの時間(速度)を[Duration/Sweep (スイープ速度)]フィールドに入力します。この値が[Treat (治療)]画面の[Sweep Duration Remaining (残りのスイープ時間)]フィールド(ストップウォッチカウントダウンタイマー)に挿入されます。
7	<b>[Power (出力)]フィールド</b> 値は、50~3,000 mWの範囲で10 mW単位で設定できます。 中央の調節つまみを使用して、レーザー出力設定(mW)を入力します。この値が[Treat (治療)]画面の[Power (出力)]フィールドに挿入されます。
8	<b>[Sweep/Segment (セグメントあたりのスイープ回数)]フィールド</b> 値は、1~10回の範囲で1回単位で設定できます。 右側の調節つまみを使用して、セグメントあたりのスイープ回数を[Sweeps/Segment (セグメントあたりのスイープ回数)]フィールドに入力します。この値が[Treat (治療)]画面の[Total Sweeps per Segment (セグメントあたりの合計スイープ)]フィールドに挿入されます。
9	選択されている[Illumination (イルミネーション)]および[Aiming Beam (ビーム照準)]設定が表示されます。
10	現在のレーザーモードが表示されます。 Ready (準備完了) : レーザーの準備が完了しており、フットスイッチを踏むとレーザーが照射されます。 Standby (スタンバイ) : レーザーは作動していません。 Treat (治療) : レーザーを照射中です(フットスイッチが踏まれました)。
11	[Treatment Summary (治療サマリー)]画面を開く場合に押します。

## 4.2 治療の実施

注記：治療を実施する前に、『Cyclo G6レーザーシステムオペレーターマニュアル』および『MicroPulse P3デリバリーデバイス使用説明書（IFU）』を参照し、実施手順（安全、警告、および注意を含む）を確認してください。

1. [Treat/Standby（治療/スタンバイ）]ボタンを押し、[Treat（治療）]画面に移動します。



[Treat（治療）]画面

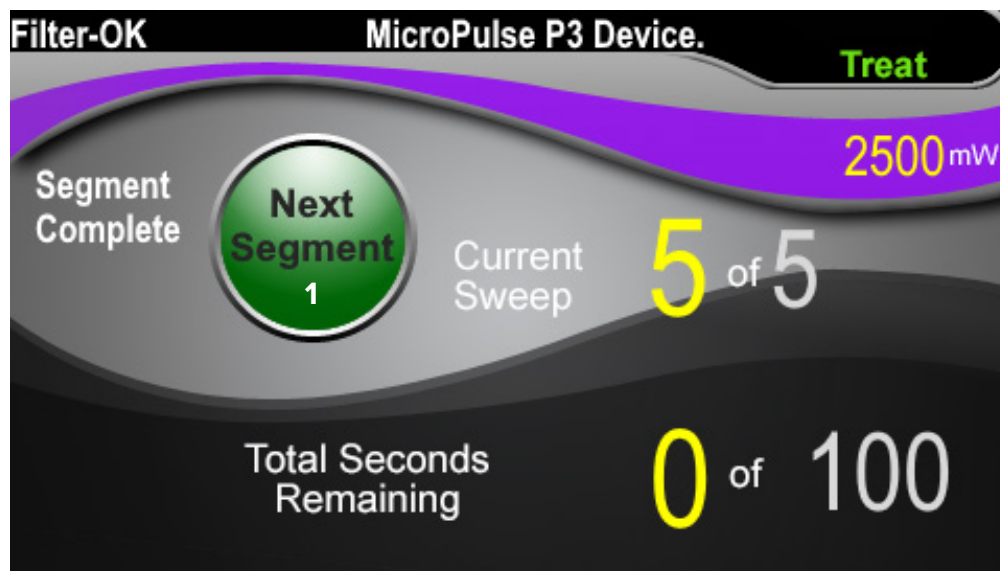
1	眼の安全フィルターのステータスと接続されているデリバリーデバイスが表示されます。
2	[Sweep Duration Remaining（残りのスイープ時間）]ストップウォッチでは、1回のスイープの進捗を追跡できます。このフィールドは毎スイープ後に自動的にリセットされます。 [Standby（スタンバイ）]画面の[Duration/Sweep（スイープ速度）]フィールドに入力した値が初期値として挿入されます。
3	実行されている現在のスイープが表示されます。
4	[Standby（スタンバイ）]画面の[Sweeps/Segment（セグメントあたりのスイープ回数）]フィールドでプログラムしたセグメントあたりの合計スイープが表示されます。
5	セグメントの残り秒数が表示されます。

6	[Standby (スタンバイ) ]画面でプログラムした[Duration/Sweep (スイープ速度) ]フィールドと[Sweeps/Segment (セグメントあたりのスイープ回数) ]フィールドの積として計算された合計セグメント時間が表示されます。
7	[Standby (スタンバイ) ]画面でプログラムした、選択されているレーザー出力設定 (mW) が表示されます。
8	<p>現在のレーザーモードが表示されます。</p> <p>Ready (準備完了) : レーザーの準備が完了しており、フットスイッチを踏むとレーザーが照射されます。</p> <p>Standby (スタンバイ) : レーザーは作動していません。</p> <p>Treat (治療) : レーザーを照射中です (フットスイッチが踏まれました) 。</p>

- 『Cyclo G6レーザーシステムオペレーターマニュアル』にある手順に従って、フットスイッチを踏んでレーザーを作動させます。治療を中断する必要がある場合は、フットスイッチを解放します。

#### 4.2.1 次のセグメントに進む

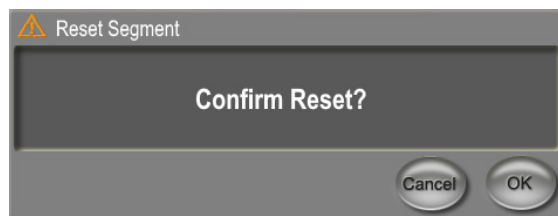
- 1つのセグメント (四半分または半分) の治療を完了すると、ストップウォッチが[Next Segment (次のセグメント) ]ボタンに変化します。
- 次のセグメントを治療するには、[Next Segment (次のセグメント) ]ボタンを押して、[Sweep Duration Remaining (残りのスイープ時間) ]、[Current Sweep (現在のスイープ) ]、および [Total Seconds Remaining (合計残り時間 (秒) ) ]フィールドを初期値にリセットします。
- 所要のすべてのセグメントを治療したら、[Treat/Standby (治療/スタンバイ) ]ボタンを選択して[Standby (スタンバイ) ]画面に戻ります。



[Next Segment (次のセグメント) ]ボタン

1	次のセグメントを治療する前に、[Next Segment (次のセグメント) ]ボタンを押して、[Sweep Duration Remaining (残りのスイープ時間) ]、[Current Sweep (現在のスイープ) ]、および[Total Seconds Remaining (合計残り時間 (秒) ) ]フィールドを初期値にリセットします。
---	--

セグメントを完了する前に[Next Segment (次のセグメント) ]ボタンを押すと、本当にリセットするかどうか確認するために確認ウィンドウが表示されます。

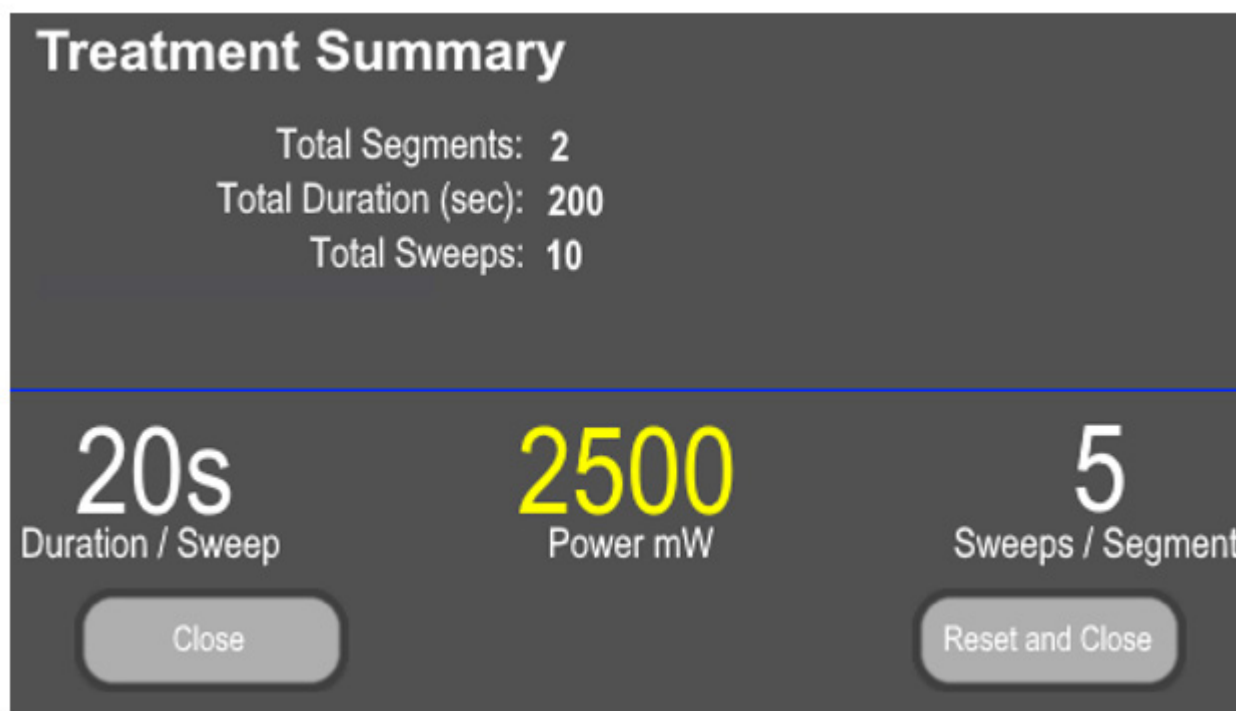


1 2

1	ウィンドウを閉じて、治療セグメントを完了します。
2	新しいセグメント用にタイマーをリセットをする場合に押します。

## 4.3 患者の治療情報の表示および記録

1. MicroPulse TLT治療の終了時
  - a. [Standby (スタンバイ)]画面で[Tx Summary (Txサマリー)]アイコンを押し、[Treatment Summary (治療サマリー)]画面にアクセスします。
  - b. 治療情報を患者のカルテに手動で記録するか、[Treatment Summary (治療サマリー)]画面を写真に撮って患者のカルテに添付します。個人情報または個人が特定される患者情報はソフトウェアに保存されません。
2. 記録したら、[Reset and Close (リセットして閉じる)]を選択して、[Total Segments (合計セグメント)]、[Total Duration (合計時間)]、および[Total Sweeps (合計スイープ)]の値を0にリセットし、次のMicroPulse TLT治療に備えます。



1

[Treatment Summary (治療サマリー)]画面

2

1	治療サマリーの値を保持したままで画面を閉じる場合に押します。画面が閉じ、[Standby (スタンバイ)]画面に戻ります。
2	[Total Duration (合計時間)]、[Total Sweeps (合計スイープ)]、および[Total Segments (合計セグメント)]フィールドをクリアする場合に押します。治療パラメーターは変更されません。画面が閉じ、[Standby (スタンバイ)]画面に戻ります。



## 5. トラブルシューティング

### エラーメッセージ

エラーコード	エラーメッセージ	原因	ユーザー操作
W00002	User is aware of eye safety requirement (眼の安全に関する要件を確認してください) .	レーザープローブが接続されています。	[OK (オッケー)] を押します。

注記： その他のすべてのトラブルシューティングおよびシステムエラーメッセージに関するガイダンスについては、『Cyclo G6レーザーシステムオペレーターマニュアル』を参照してください。

## 6. お問い合わせ先



Iridex Corporation  
1212 Terra Bella Avenue  
Mountain View, California 94043-1824 米国

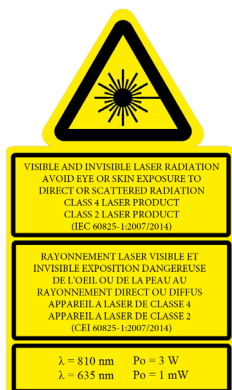
電話： +1 (650) 940-4700  
+1 (800) 388-4747 (米国のみ)

FAX： +1 (650) 962-0486

テクニカルサポート： +1 (650) 940-4700  
techsupport@iridex.com



Emergo Europe  
Prinsessegracht 20  
2514 AP The Hague  
オランダ



治療を実施する前に、『Cyclo G6レーザーシステムオペレーターマニュアル』および『MicroPulse P3デリバリーデバイス使用説明書 (IFU)』を参照し、実施手順 (安全、警告、および注意を含む) を確認してください。

**iridex.com**



Iridex、Iridexのロゴ、MicroPulse、Cyclo G6、およびMicroPulse P3は、Iridexの登録商標です。

© 2022 Iridex Corporation. 無断複写・転載を禁じます。PN 88199-JA 第B版 2022/02